

洗い方 ～マフラーの場合～

- 1 マフラーがゆったり入るくらいの容器に、50～60℃くらいのお湯を3～4ℓ入れます。
(お湯が少ないと洗っているうちにフェルト化してしまいます。)



2 油を落とします

洗剤は油を落とすために弱アルカリ性のものを使います。通常の洗濯用の洗剤でOK。洗剤の量は洗うもの、マフラーの重さ100gに対して、液体洗剤大さじ1杯くらい。通常の洗濯よりかなり多めです。マフラー1本だと大さじ1.5杯くらい。

洗剤を入れたお湯にマフラーを浸します。あっという間に固そうに見えた毛糸がふっくらします。このときお湯がかなり熱いので、マフラーの両端を持って上下に動かすこと数回、位置を変えながらカップの中でティーバッグを上下させるように……。その後は、毛が広がって油が落ちるように10～20分そのまま浸けておきます。

3 房をフェルト化させます

お湯が冷めきらないうちに房だけフェルト化させます。

両端の房をまとめて持ち、結び目の少し上あたり（結び目を切り落とすところ）をフェルト化させるために洗剤の原液を少し、または固形石鹼をこすり付けて、ここだけ部分的にもみ洗いします。



全体も少しフェルト化させたいときは、ここで全体に少しもみ洗い。でも乱暴にするとマフラーの中央のフェルト化が先に進むために、干したら両端がヒラヒラ伸びているなんてことになりかねません。

4 ゆすぎます

20分くらいして、一部を手で絞り油の臭いがしなければ、ゆすぎます。油がスッキリ落ちていない場合は、洗剤を加えてさらに少し置きます。

お湯を捨てずに、そこに少しずつ水を加えて温度を下げ、急な温度差を避けます。そのあと水で2～3回ゆすいで最初の洗剤を落とします。

5 最後に、少量のおしゃれ着用洗剤で洗います

これは、おしゃれ着用洗剤は風合いを柔らかく仕上げるように洗剤が作られているため、バッグ用の布などは必要ありません。羊毛は、酸性で柔らかさが保たれる性質を持っているので、おしゃれ着用洗剤で洗う代わりに最後のゆすぎに少量の食酢を加えるのも良いでしょう。

洗濯機で軽く脱水(30秒～1分くらい)して陰干ししてください。その後の洗濯はぬるめのお湯を使い、揉まないように気を付ければ同じ風合いが保てるでしょう。

6 仕上げ

房を切りそろえて、軽くスチームアイロンをかけて出来上がりです。